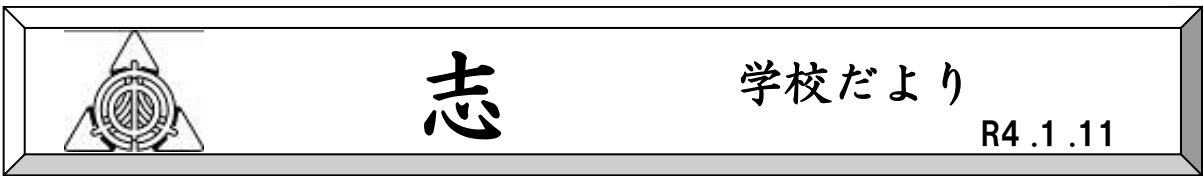


教育目標 「 知性豊かに 心さわやか たくましく生きる 」



四日市市立内部中学校 第 33 号

新年を迎えて

新しい年になりました。今年はみなさんにとって、どのような年になるでしょうか。人まかせや運まかせで良い年を期待するのではなく、是非みなさんの気持ちや努力で、良い年にしてほしいと思います。

2学期の終業式でお話した、「振り返り」と「リセット」はできたでしょうか。せつかく新しい年になったのですから、「新しいスタート」を切ることは、とても大切です。もちろん、これまでうまくでき



ていたことは継続してください。うまくできていなかったことは一つでも良いので改善できるよう取り組んでみてください。本当にそう思って取り組めば、きっと変えることができるでしょう。

新年や新学期に際して、もう一つ考えて欲しいことは、みなさんは様々な人と関わり合いながら、支え合いながら生きているということです。自分がしあわせに生活していることには、必ず誰かの愛情や思いやりがあります。また、みなさん一人ひとりの愛情や思いやりが、周りの誰かを必ずしあわせにしています。ですから、多くの他者とより良い関係を築いていくには、どうすればよいかを考えながら生活してください。このことも終業式でお話したことです。が、「他者に迷惑をかけない」「他者に嫌な思いをさせない」も、生きていく上でとても重要なことです。

3学期が、そして今年が、みなさんにとって有意義で充実したものとなることを願っています。

成人の日

1月6日（木）の中日新聞に、『「成人式は20歳」が9割』といった記事が掲載されていました。民法改正で4月から成人年齢が18歳に引き下げられることを受けて、各自治体が、式典の対象年齢をどのように定めたかを調査した結果でした。四日市市も、「20歳を祝う会」として、



今後も20歳で式典の実施を決めているようです。

記事の中で「何をもって成人とするのか」という問題提起がありました。「成人」とは、「心身ともに成長して、一人前の人間になること」ですが、そのことを民法が定めていることを、みなさんはどのように考えるでしょう。また、みなさんは自分がどのような姿になったら、何歳になったら、大人になったと思うのでしょうか。

授業を大切に

学校では、毎日あたり前のように『授業』が行われています。生徒のみなさんが、学校にいる間で一番長い時間を過ごしているのは、もちろん『授業』です。有意義な時間にしたいものです。

さて『授業』とは何でしょうか？辞書等によると、以下のように定義されています。

学校において、一定の単位時間（50分）で展開される、各教科等における教育活動

一般的に『授業』は、教科書等の内容を、教師が説明しながら、生徒たちが理解を深めながら学習していく「場」や「時間」と考えられています。はたしてそれだけでしょうか。

授業は「生徒・教師・教材」で構成されています。大切なのは、その三者の関係や、生徒同士の関係を、いかに良いものとするかです。このことに関しては、コーディネイト役となる、教師の役割がとて重要となってきますので、研修等でそのスキルを高めることに取り組んでいます。

また、それぞれの関係が活性化すれば、「学び」も活性化されます。各教材にどのように向かい合いながら学ぶかはとても重要なことですが、それだけでなく、様々な他者の意見や考えを聞いて、自分の考えを深めていく「場」や「時間」としていくことが重要です。つまり『授業は、一人で学んで知識を得る「場」や「時間」ではない』ということです。

新しい学習指導要領において目指すこととして、『主体的・対話的で深い学び』という言葉が示されてから、随分と時間が経ちました。今一度、その意味や意義について考えてみましょう。

基本的な考え方として、『生徒たちに「生きる力」を育む』があります。この考え方は、本校の教育目標である「知性豊かに さわやか たくましく生きる」に通じます。生徒たちが社会において、しあわせで確かに生きることができるようにすることは、教育の基本であり、目標です。そうした目標は、教師が説明しているのを聞いているだけの『授業』では、達成することができません。ですから、生徒たちが主体的に取り組めるような授業となるよう、改善していくことが求められています。それでは、どのような『授業』にしていけばよいでしょうか。例を挙げます。

見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業

周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業

このような授業となるよう、何よりも教師が研修を重ね、工夫していくことが必要となります。また、生徒たちが各教科等で学んだことを、社会や将来につながるようにすることが重要です。

ここまでは、教師が努力したり頑張ったりしないとイケないことを、敢えて多く書きました。それでは生徒のみなさんはどうすれば良いでしょうか？例を挙げるので是非実行してください。

自分の意見や考えをどんどん発表する（「わからない」という意見でもいいです）

みんなが自由に意見を言える教室の雰囲気をつくる（授業はもちろん、普段も大切です）

他の人の意見や考えを聞いて、自分の意見や考えを見つめ直す（振り返りも重要です）

様々なことに興味・関心を持って授業に取り組む（教科書を読むだけでもいいです）

授業で学んだことが、普段の生活とどう結びついているかを考える（活用できるとよいです）

是非、『授業』を有意義な時間とし、みなさんの毎日の生活や将来につなげてください。